

卵をよしとす、土人文政壬午改三十九軒、百七十三人、近頃減す、是當所產物多くして、其遣方苛酷なる故也、處々に部落す、土產鱈、鮭、鱒、ふのり、鮫、壳、昆布、椎茸、鯖等多し、其餘雜魚、海鼠多く、繁昌の地也。  
略中

十勝略中トカチ會所從三ノホロイツミ會所、海岸二間、四十五里、四十間、從ニサ、ル山岩、所、陸通リ、五里、廿

四丁、從箱館百十八里、會所、牛向一棟、二百四十坪、通屋二丁、五十坪、從ニサ、ル山岩、所、陸通リ、五里、廿

棟、漁小屋、鍛冶小屋、風呂、釜屋、雜藏、大工、小屋、雇人、小屋、木挽、小屋、板藏、九前長九十七尺、是は

昔し非常の爲に礫石もて積上し也、觀音堂、稻荷社二、土地少し高く、巽向、左リラツコ岬、右フンへ

ムイ岬、其間一灣をなし、後ろ平山、雜木立、船は西南風にて入津、戌亥風にて出帆、潟内にヒンチワ

タラ石立マチチワ平タラ石有、甚難場也、當石はヒロウといへる地にて、其名義ヒラロにて、小石の多

きを取る也、又岬の陰とも云よし、其名悪き由にて、此場所内に十勝の大河あり、故にトカチと改

むと也、會所文化前、下の濱に在しが、餘り地所狭きが故、爰に移すと、持場内土人一文政壬午、百七十九、

安政庚寅、百九十八、多軒、千百廿八人、多く、爰に四十五軒二百三有、土產、昆布、海苔、鱒、鱒、鮭、鱒、其餘雜魚、椎茸等多

し、

〔東蝦夷日誌七編久摺略中久摺會所略中當所領分總家數貳百五十二軒、人別千二百九十八人

安政辰、文政壬午、二百七十四軒、千三百九十九人、安元、松前藩飛内龜左衛門給所、略中土產、鮭、昆

布、鱈、鱒、鮭、鮫、雜魚、水豹、鷲尾、椎茸、熊皮、アツシ、蒲筵シユシヤモチカ粕多し、

〔納紗布日誌〕厚岸は、今場所の總名と成ども、本地の所は瀉の北岸に在也、其譯土人が衣服になす

木皮を、剝に多しとの儀にて、本名アツニケウシ皮、アツニは、榆、ケは

〔東夷竊々夜話十四クナシ。リ。場所大概書

箱館の道法、二百餘里根諸ノシツケより海上凡五里程、寬政十年迄、元松前若狹守進退之節、アツ

ケシ、キイ、タツ、フ、クナシ、リ、を、三場所と唱へ、手場所と名附略中